



自治協議会が
元氣な地域づくりの
今、を発信

千年地区

(No.8)

千年地区の現状

自治協議会が発足して三年が経過しました。その間、「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる千年」を目指して様々な取組をしてきました。

この地域には古墳時代中期から後期に築造された、首長の墓である若宮古墳群（月岡古墳、塚堂古墳、日岡古墳）があり、月岡古墳の出土品が国の重要文化財に指定されています。この地区は歴史のある地域です。この地域でも少子高齢社会・核家族化の動きが進み、地域の共生力を弱体化させています。

千年地区は、一部の地域で宅地化が進み、市内十一地区の中で二番目に人口世帯数が多い地区です。しかも、行政区未加入の問題など課題も山積しています。



▲コミュニティセンター前の歩道等整備工事

今年度は、千年コミュニティセンター前の通学路（歩道と車道）が整備されました。これで、千年小学校児童や千年保育園児等が安全に通学・通園できるようになりました。

今後の課題

さらに、自治協議会では区長会の組織強化を行い、役員体制も副会長に区長会と女性代表等充実を図り組織改革に取り組みました。

地域活動の担い手づくりのための人材育成、世代間の交流等課題があります。

具体策の一つとして、各行政区の子ども会の指導者育成を目指し青少年育成委員や子ども会役員等の研修会を10月に開催しました。この研修会を通して各行政区に子ども会組織推進と充実を図りました。

平成27年度の地域アンケートによると、千年地区では「安心して生活でき、健康でふれあいや支え合い、子どもを育むまちづくり」を求めていることがわかりました。しかし、コミュニティセンターが地域の活動の拠点には、まだなっていないようです。役員等以外の市民が気軽に集える対策を講じなければなりません。

子どもから大人まで校区の人々がコミュニティセンターに集い地域づくりを共に考え、活動していく必要があります。



▲地域の和と交流を深め、健康や福祉の推進を図る「福祉コスモスまつり」
[今年度は11月26日（日）開催予定]



▲今年7月には千年小4～6年生 24人が3泊4日の通学合宿で生活体験（ハンバーグづくりに挑戦する児童たち）